



チャレンジ！！オープンガバナンス(COG)

その経験と期待

@関西情報化維新協議会

2022年5月

COG事務局 奥村裕一

チャレンジ!!オープンガバナンス

COG

STEP1

参加自治体
募集中

応募締め切り
8月31日

データ・デザイン・デジタルで地域課題解決に市民が迫る!

これまで69自治体参加



2022

新型コロナへの対応

永遠のベータ版

- COG総合賞
- アイデア 賞
- 連携体制賞
- 学生賞
- ハーバードイノベーション賞
- 協賛団体賞
- オンライン投票賞

- 共催
 - 東京大学公共政策大学院
科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」教育・研究ユニット (STIG)
 - 東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム (GCL)
 - (一社) オープンガバナンスネットワーク (OGN)
- 連携
 - ハーバード大学アッシュセンター
- 協賛
 - LINE株式会社
 - (一財) 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)
 - Tableau Software
- 後援
 - デジタル庁、内閣府 (地方創生推進事務局)、
 - (一社) 行政情報システム研究所、(一財) 地域活性化センター、(一社) Code for Japan、
 - (一社) オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン、(一社) オープン・コーポレイツ・ジャパン、デンマーク大使館

・アイデアの実行を目指し
たフォローアップ

- ・1年後
- ・2年後
- ...

実行こそいのち

COGは2016年開始 これまで6回

- 参加自治体は69
- 市民・学生チームは328
- COG2022では？



参加自治体実績



1 札幌市	11 春日部市	21 世田谷区	31 鯖江市	41 長浜市	51 神戸市	61 松山市
2 室蘭市	12 深谷市	22 中野区	32 越前市	42 近江八幡市	52 姫路市※)	62 八幡浜市
3 森町	13 松戸市	23 多摩市	33 静岡市	43 草津市	53 西宮市	63 土佐町
4 八戸市	14 茂原市	24 神奈川県	34 三島市	44 京都市	54 豊岡市	64 北九州市
5 仙台市	15 流山市	25 横浜市	35 掛川市	45 大阪府	55 加古川市	65 福岡市
6 鶴岡市	16 千代田区	26 横浜市金沢区	36 裾野市	46 大阪市	56 三田市	66 小城市
7 南陽市	17 港区	27 川崎市宮前区	37 菊川市	47 大阪市東住吉区	57 生駒市	67 玉名市
8 会津若松市	18 文京区	28 鎌倉市	38 牧之原市	48 大阪市住之江区	58 倉敷市	68 日南市
9 水戸市	19 品川区	29 新潟市	39 豊橋市	49 豊中市	59 宇部市	69 那覇市
10 熊谷市	20 目黒区	30 金沢市	40 大津市	50 枚方市	60 高松市	

備考:自治体コード順

(※) 姫路市・福崎町・市川町・神河町・朝来市・養父市の地域連合



COG2022のプロセス

STEP1 (いまここ)

自治体からの
課題募集
(2022年6-8月)

市民目線で課題を発掘し
関連の公開データと共に
地域の課題をエントリー



STEP2

市民／学生の
解決アイデア募集
(2022年9-12月)

アイデアに磨きをかける3D
データで事実を知り
デザインで人を知り
デジタルを活用する



STEP3

最終公開審査と
改善アドバイス
(2023年1-4月)

アイデアの実現目指して
小さい第一歩を踏み出す
持続と発展を視野に入れ
その基礎固めを手がける

COG審査委員会

審査委員長

城山 英明(東京大学未来ビジョン研究センター長 公共政策大学院・大学院法学政治学研究科教授)

審査副委員長

坂井 修一(東京大学副学長・附属図書館長 大学院情報理工学系研究科教授)

審査委員(五十音順)

宇野 重規(東京大学社会科学研究所教授)

大橋 弘(東京大学副学長 大学院経済学研究科教授)

川島 宏一(筑波大学システム情報系社会工学域教授)

国谷 裕子(東京芸術大学理事)

庄司 昌彦(武蔵大学社会学部メディア社会学科教授)

関本 義秀(東京大学空間情報科学研究センター教授)

林 千晶((株)ロフトワーク共同創設者)

渡辺 美智子(立正大学データサイエンス学部教授)

運営コーディネーター

奥村 裕一(社)OGN代表理事 元東京大学公共政策大学院客員教授



これまでのファイナリスト

COG2021 ファイナリスト

地域名	チーム名	アイデア名	属性
文京区	Tea POD -Prevention Of Disaster-	文京区民のためのPODchat	学生
横浜市	横浜ユニバーサルツーリズムデスク	街のバリアフリー施設をデータ標準化！多目的トイレや混雑状況のことで困りたくないから	混成
豊橋市	移住者人材バンク(連携体制賞)	豊橋市 × 都会のミドルシニア層 = 「人口＋付加価値」創出！	市民
長浜市	Nexus Biwaichi	TRUE ～高校生のやりたいを叶える～	学生
長浜市	NAGAHAMA BLACKS	出張どんどんプロジェクト	学生
近江八幡市	地域内に”日々の楽しい”を作るチーム	むしろインフラに来てもらうプロジェクト	市民
草津市	bc-life鬼に金棒	目指せ！けん診受診者2万人～トルネード大作戦★すてきな輪の始まり～	市民
加古川市	チーム兵庫大学大学院BM(ハーバード・イノベーション賞)	まちなかダイバーシティ加古川～高齢者の健康交流・子どもの学習環境カイゼン～	混成
加古川市	兵庫県立加古川東高校 STEAM特講 地場産業PR班 (オープンガバナンス総合賞)、(学生賞)	KAKOGAWA KUTSUSHITAプロジェクト	学生
倉敷市	まちケアローリングストック研究会	おやこ給食ログブック	市民
那覇市	DIJI SHURI(デージ・シュリ)	DIJI SHURI XR未来都市首里 ～デージ・シュリ・エックスアール～	混成

COG2020 ファイナリスト

地域	チーム名	アイデア名	属性
室蘭市	Team バードラン(連携体制賞)	バードラン	混成
室蘭市	MTI 企画部	室蘭工業大学の大学生が作る、大学生と大学近隣住民向け、バス待ちストレス軽減システム	学生
目黒区	未来減災課(オープンガバナンス総合賞)	私のヒナン・ヒョウメイ	市民
鎌倉市	KAMA-gination(アイデア賞)	渋滞御免アプリ	混成
越前市	越前市未来計画隊	増え続ける外国人、国籍関係なく助け合うWell-beingなまちづくり～リアルとデジタルからの5つのアプローチ～	学生
越前市	福井県立武生東高等学校Hino・Quest(学生賞)	Happy Project×高校生=Hino・Quest 地域の多様な人と繋がりながら、高校生の視点で地域のHappyを生み出す	学生
京都市	fromHANKEL3m	HANKEL 3m ～身近な人と本音を言い合える関係へ～	市民
宇部市	Webビジネス組	宇部サイン	学生
玉名市	たまな放課後地域創造クラブ	開放的な空間で人々が繋がる	混成
那覇市	英語名:VONS (Volunteer by Okinawa Next generation and Students) 日本語名: 沖縄次世代に繋ぐ学生ボランティア(ハーバード・イノベーション賞)	～学生・大人・地域の協働～MUGムグフードプロジェクト	混成

COG2019 ファイナリスト

地域	チーム名	アイデア名	属性
鶴岡市	大東文化大学 社会学部 阿部ゼミ 地域公共交通チーム	デマンド型タクシーと空き店舗を活用した高齢者に優しい公共交通	混成
深谷市	チームFOC(三位)	働きづらさを抱えた人が働ける！分身ロボット窓口案内で日本一あたたかい市役所を実現	市民
多摩市	多摩市若者会議	多摩市の街並み共有プロジェクト～Googleストリートビューを活用した遊歩道・公園の丸見え化～	混成
横浜市	横浜ホイールマップ(二位)	バリアフリーではない施設の突破方法調査	学生
越前市	チームでっかいかるた	多文化交流を実現するイベント『でっかいかるたで大合戦！』	学生
裾野市	Code for SUSONO	安全に我が家へGO！災害時徒歩帰宅支援マップ作成	市民
草津市	草津おみやげラボ情報部(四位)	「まめバスすごろく」で疑似体験！地域の宝を発掘、活用、未来につなぐ	混成
京都市	チームKyo-So(共創し, 協奏し, 京想する)	京都の木とICTの目でつながる心	混成
京都市	Pharmatching(一位)(ファーマッチング)しておくれやす☆	ICTの活用により薬局・薬剤師等の活用支援ファーマッチング	混成
西宮市	ナルオレボリューション	住人十色	混成
倉敷市	まびケア運用チーム	「こども防災マップクラブ」	市民
那覇市	わくわく新都心@okinawa	新都心公園避難村(防災フェス)	市民

新型コロナ勃発でオンライン試行開催 審査の代わりに視聴者オンライン投票のみ

COG2018 ファイナリスト

地域順	チーム名	アイデア名	属性
室蘭市	U-18 室蘭元気バクハツ隊	室蘭だんばらへGO！～キッズもシニアも旅行者も！体験型アクティビティはACTRANにお任せ！～	学生
室蘭市	Team AMJ	室蘭観光客のための動画共有システム(Video Sharing System for Tourists Visiting Muroran)	学生
文京区	Code for Bunkyo	文京区の子育てワンストップサービス～LINEを活用した手続きの一元化～	学生
多摩市	市民のミカタ&CodeForTama	公開された各種財政データのXViewによる行財政状況の把握とこの活用による市民とともに作る財政白書	市民
多摩市	多摩市若者会議	みんなの縁を結び、感謝と恩を贈り合う多摩ニュータウンを創る「未知プラットフォーム」	混成
横浜市金沢区(鎌倉市連携)	金沢研究会	朝夷奈切通からはじまる歴史資料のオープンデータ化プロジェクト	混成
川崎市宮前区	チーム「高山土曜ストア」 (アイデア賞)	「高山土曜ストア」@市営高山団地集会所がスタート！	市民
越前市	仁愛大学早川ゼミ チーム「3PEACE」 (学生賞)	創造的で懐かしく、多世代が共存できる場所—『Third School』	学生
裾野市	Code for SUSONO(仮称)	郷土への愛着は情報から！PDF・Wikipedia！みんなでつくるオープンデータ	市民
菊川市	菊川ジュニアビレッジ	菊川市の課題を解決する小中学生、「菊川ジュニアビレッジ」の取り組み	混成
大津市	E-ほいくプロジェクトLab.	子どもも親も保育士も幸せになる保育の共創～子どもファーストによる良質な保育を提供するE-ほいくプロジェクト～	市民
草津市	めざめ保育士応援隊 (オープンガバナンス総合賞)	保育の質を高める「めざめ保育士」プロジェクト！	混成
倉敷市	「まびケア」運営チーム (連携体制賞)、(ハーバード・イノベーション賞)	避難所情報充実と避難計画支援システム構築(これからのまびケア)	市民 11

COG2017 ファイナリスト

地域順	チーム名	アイデア名	属性
仙台市	DATECAREER (連携体制賞)	DATECAREERが学生と企業の“架け橋”となり、学生のキャリア形成における新たなプラットフォームをつくる	混成
会津若松市	STEM Leaders with Hanyu (ACN学生賞)	地域と「つながる」、除雪プロジェクト	学生
中野区	ストリートデザイン研究機構×明治大学大学院 (ハーバード・イノベーション賞)	地域特性に合わせたデータの見える化で、虚弱者の早期発見とケアの実現	混成
横浜市	ゴミンティア	ゴミ拾いコミュニティからはじまる地域づくり	混成
鎌倉市	minamoto	宿坊を通してシニア世代の高齢者の雇用拡大～KAMAKURAを世界基準の観光都市へ～	混成
金沢市	OPEN KANAZAWA Ver.1	NPOなどユニークな人材と市内の文化施設等のピンポイント活用！ アプリを活用した人材＆施設登録型一時預かり学童保育事業	市民
牧之原市	CLIP	対話により行動を起こす力をつける地域リーダー育成プロジェクト	混成
大津市	水宝山(水草は宝の山)	琵琶湖の水草有効利用の社会的仕組みを市民の力でつくりあげる	市民
京都市	京の歴史と街並みをつたえ隊 (オープンガバナンス総合賞)	自転車をつなぐる人・街・自然・文化！～ chariP naViと共創コミュニティデザイン ～	市民
京都市	チームBicycle City Kyoto！	安全で環境にやさしいまち京都をめざしてBicycle City Kyoto! プロジェクト	学生
大阪市	Re:FURO OSAKA	Re:FURO OSAKAプロジェクト	混成
宇部市	和 咲良	「地域の高齢者の協力で創る」食事もできる放課後寺子屋	市民
宇部市	多目的トイレ発検索作成協議会 (アイデア賞)	協働による多目的トイレ発検索アプリ開発	混成 ¹²

COG2016 ファイナリスト

地域順	チーム名	アイデア名	属性
室蘭市	U-18 おもてなし室蘭 (ACN学生賞)	旅人と地元民の心をつなぐ「おもてなしサロン」へようこそ	学生
松戸市	AAI	「演劇」と「リフレクション」で自分と相手を理解する	市民
東京都中野区	チャレンジ中野！Grow Happy Family & Community (オープンガバナンス総合賞)	地域とつながる「子育て」と「里親制度」ママからファミサポへ、ファミサポから里親へ	市民
神奈川県	FerriSat (Ferris Security equipment Application Toothbrush)	目指せ犯罪ゼロ！住みやすい街 緑園都市—緑園の犯罪被害0を目指し、市民の力で安心安全なまちづくりを目指すー	混成
神奈川県	Singular Perturbations	「数理的犯罪予測を用いた警察・自治体向けパトロール経路提案システム」	市民
横浜市	花のいずみ野沿線組	相鉄いずみ野線沿線におけるシビックプライドの醸成とシティプロモーション(仮称)	混成
川崎市宮前区	みやまえ子育て応援だん (アイデア賞+ハーバード・イノベーション賞)	「子育てにやさしいまちの空気」をつくる！～市民による市民・行政・企業三方ハッピープロジェクト～	市民
新潟市	Code for Niigata + 新潟大学・大串ゼミ (連携体制賞)	もっと知りたい地域のこと～協働で進める地域の情報発信のあり方～	混成
牧之原市	カタハマ・エージェント	アクションリサーチによる片浜小学校利活用の実現	混成
近江八幡市	立命館大学+近江八幡商工会議所	近江八幡「世界の中心で学ぶ～子供たちの夏休み寺子屋教室」プロジェクト	混成
神戸市	震災タイムスリップウォーク	震災非経験世代による語り継ぎ教育の導入と震災関連アーカイブの再構築	混成
生駒市	NAIST-UBI ParmoSense Developers	ParmoSense：観光客の「楽しい」をシェアするプラットフォーム	学生
福岡市	中村学園大学流通科学部 浅岡14B(3年)・15B(2年)ゼミ	COG2016ファイナリスト(福岡市)の活性化案：2つのStageによる取り組み	学生

きっかけはオバマのオープンガバメント

- 2009年 大統領就任式翌日政府職員向け [Open Government](#) の通達にサイン
 - Open Governmentを政府職員向けに推進
 - Transparency -> Open Data
 - Participation=政策立案への国民参加
 - Collaboration=国民、政府内、自治体の連携
- 2013年 G8サミット 英国 [G8 Open Data Charter](#) 合意
 - 米国政府 <https://digital.gov/topics/github/>
- 2013年秋 日本政府も[オープンデータ公式サイト](#)立ち上げ
 - ☞ オープンデータを出すだけでなく課題解決のためのオープンデータ活用に
 - ☞ エンジニア界隈で楽しむだけでなく一般市民も積極的に参加する仕組みに
 - ☞ オープンガバメントからオープンガバナンスへ
- ☞ 2016年 COG開始

市民も変わる、行政も変わる オープンガバナンス！！

- 市民も変わる(Engaged citizen)
 - 地域課題の解決を自分ごととして、未来をつくる市民となります
 - 学生は経験を積んでこのような市民として育ちます
- 行政も変わる(Open government)
 - データや知識の共有で地域社会のプラットフォームとなります
 - デジタル時代のデータ共有形式のオープンデータ(機械判読、二次利用)
- オープンガバナンス(Open governance)
 - 市民も行政も主役です。両者の新たな協働が始まります
 - 多様な関係者で課題をオープンにガバナンス(采配)していきます

市民も行政も主役

- 市民も主役

- 課題解決の結果として恩恵を受ける立場ですが
- 結果だけではなく市民も課題解決にかかわります
- 市民は自分ごととして解決のアイデアを生み出し実行するのに最適

- 行政も主役

- 上のように市民がアイデアを生み出し実行するのを支援します
- データを公開(オープンデータ)するのはこの出発点

そして両者の協働

- 地域アゴラ≡コミュニティ
 - 場(リアル・バーチャル・組合せ)
- 複雑性
 - 多様な視点
- ネットワーク型関係

- 社会関係資本
 - ネットワーク
 - 信頼
 - 規範

デジタル時代の協働へ

オープンガバナンスの背景

1. 行政の歴史的転換

- 君主の時代⇒民主の時代⇒代議員制
- 議会が社会のルールや行政の仕事を決定
- 行政が執行⇒市民とともに連携

2. 地域コミュニティの新生再生

- 生活:仕事:家庭:コミュニティ
- コミュニティが公共サービスの原点
⇒生き方改革(WLSB)

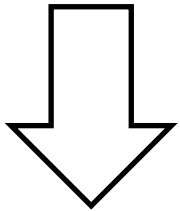
3. デジタル社会

- ヒトもモノも新たな形のつながり
- ビッグデータ
⇒ソサエティ5.0

4. デモクラシーの再構築

- デモクラシーの行き詰まり
- 市民も主役・行政も主役
⇒オープンガバナンス

COG4原則



これを支える
データ・デザイン・デジタル

地域の課題を一緒に探す

市民が自分ごとで解決策を見つける

行政はプラットフォームになる

協働で政策を実行する

行政にとってのパラダイムシフト

パラダイム	理論的背景	状態の性質	資源配分メカニズム	価値の重点
伝統的行政	政治学	一方的	ヒエラルキー	公共の理念
新公共経営	公共選択理論	生産者対顧客	マーケット	パフォーマンス
オープンガバナンス	ネットワーク型連携	双方向	プラットフォーム	公共価値の創造

「オープンガバナンス: 情報化時代の都市統治を理解するための新しいパラダイム」より奥村修正
Albert Jacob Meijer 1*、Miriam Lips 2、Kaiping Chen 3

英国政府の
ポリシーラ
ボ
Lucy
Kimbell

発見1

これまでの政策立案は政治家、エビデンス、デリバリー
の間の調整という定義が不明確な慣行

発見2

仮説を立てて検証しながらの政策立案が必要
日本でいえば前例主義ではよくない

発見3

市民をユーザー、受益者の発想でとらえていてはダメ
ともに作りともに実践

発見4

市民を立案段階から巻き込む必要
コ・デザイン

COG推奨ツール

Data

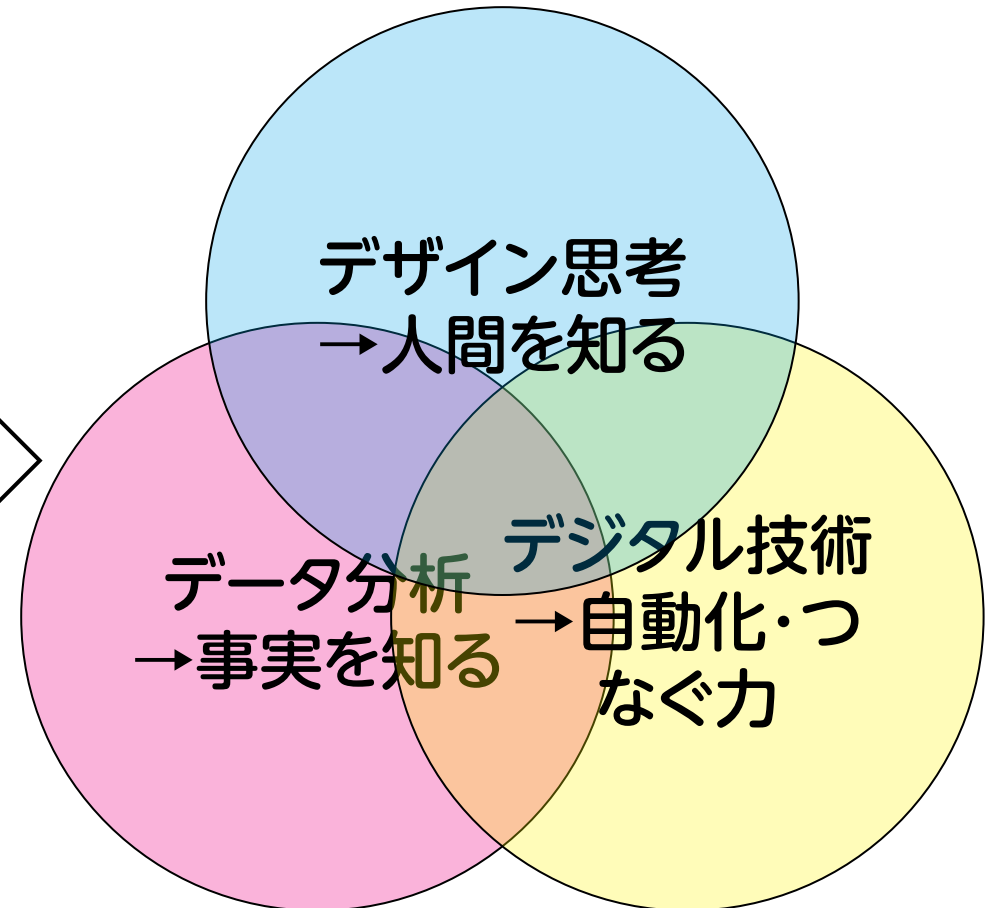
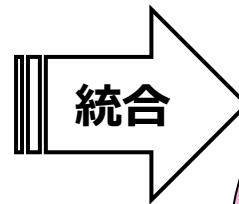
データ活用 (Data utilization)
事実の確認と主張の裏付けができます
データの可視化で人間行動の変容を促せます

Design

デザイン思考 (Design thinking)
課題当事者への共感で課題の原点に迫ります
こうあって欲しいと仮説を立てアイデアを考えます

Digital

デジタル技術 (Digital technology)
21世紀社会の変容の起爆剤です
行動が変わりコミュニティーが広がります



アイデアに磨きをかける3D

- データ分析と見える化
 - 事実の確認と裏付け
- デザイン思考
 - 人間の心を探る共感
- デジタル技術
 - 21世紀の起爆剤の有効活用



COG2022の進め方

STEP1 自治体からの課題募集 8月末メ切 オープンガバナンスの第一歩

- 市民と行政の協働によるオープンガバナンスを視野にいて、
 - 市民も主役 地域の課題に自ら取り組む市民
 - 学生は未来の市民として経験をつみます
 - 行政も主役 このような市民・学生を支えるプラットフォーム役の行政
- その第一歩として自治体による地域課題のエントリー
 - 自治体連合での応募も可能

STEP1 自治体からの課題募集 8月末メ切

- 課題の見つけかた
 - 市民目線で課題発掘 次のスライド
- どんなデータが必要か
 - 統計 調査結果 報告書 計画 など
 - 市民がアクセスできる公開データや情報
 - (オープンデータ形式以外も公開してあればOK)

市民目線で課題を見つけるとは

- しばしば役所内では気づいていない課題が多い
- この気づきのためには
 - 日頃関係のある市民グループからのヒヤリングやワークショップ
 - 自分自身が市民目線で
 - ほかの部署に聞く

STEP1 自治体からの課題募集 続き

- 課題タイトル
 - 50字以内 キャッチフレーズ
- 課題分類 複数チェックOK
- 問題意識
 - 500字以内 わかりやすく
- 担当課
 - COG担当課
 - デジタル系、市民系、
 - 企画系
 - 個別業務系
 - 課題担当の参加期待

STEP2 市民・
学生からのア
イデア募集
12月20日メ
切

アイデア考案とデータ、
デザイン、デジタルの
三要素

市民・学生チームを適
宜支援

市民の目線で出発 専門家はサポート役

ユーザー目線で構想
着実な夢から出発する



供給者目線で実現チェック
OKなら実現支援

市民の課題⇒
夢



市民の夢の実
現⇒構想

ITで何がサ
ポートできる



必要なら制度
をどう変えるか

データ活用

デザイン思考

デジタル技術

アイデア

プロジェクト化

自治体

アイデアの分類

社会的ソリューション(活動)vs アプリ開発・利用

アイデアの分類	社会的ソリューション (活動)	アプリ開発・利用 (実現手段)
A	○	-
B	○	△
C	○	○
D	△	○

データを利用するアプリがアイデアに含まれることはありますが、単にアプリの開発や利用が目的ではありません。

市民・学生チームの要件

(1) チーム

住民目線(※)で地域課題の解決に貢献したいと考える市民／学生のチーム

※アイデアの受け手となる住民の目線

<一人での応募はできません>

(2) チームメンバー

応募自治体に、

A. 居住している人

B. 居住していないが通勤か通学をしている人

C. 上記に該当しなくても課題解決に強い熱意がある人

(3) チームリーダー

いずれかに該当する人

応募自治体に

A. 居住している人

B. 居住していないが通勤か通学をしている人

のほか、応募自治体のAかBに該当しかつ応募アイデアに関係する市民／学生の推薦を条件に、

C. 地域の元居住者

D. 地域での用務者(通勤までは要しない)

E. 勉学・研究対象者(過去でもよい)

(4) チーム編成

- 以下のいずれでも可
 - A.市民だけのチーム
 - B.市民と学生(※)の混成チーム
 - C.学生(※)だけのチーム
 - ※学生は高校生、専門学校生、大学生、大学院生
 - (子供目線が必要などの理由で市民／学生のチームに中学生以下を加えることは可能)
- (留意事項)過去の応募チームの扱い
 - 以下を除き制限はありません
 - COGで最終公開審査対象となったチームは、自治体が提示する地域課題がこれまでと同じであればご遠慮ください

アイデアを生み出すコツ

課題を自分ごととして取り組む



課題はデータや新聞・聞き取りなどで確認する



課題を希望に変えて未来を作りたい



自分たちも希望の実現をめざす その一端を担う

課題をまず掘り下げてみる
それからアイデアにとり組む

- ☆事実を知るデータ
- ☆心を知るデザイン
- ☆未来を広げるデジタル

データをどう使う

- 事実を知るのに使う（分析）
 - 自治体提示の公開データのほか自分達で探しに行ったり新聞や聞き取りも有効
 - 統計担当に聞きに行くのもよい
- アイデアの根拠としてデータを使う（理由付け）
 - こういうアイデアにしたがその根拠として関連データがあるとアイデアのストーリーに説得力が増す
 - 現状、対策のアイデア、効果をつなぐ
 - ここにデータが生きる
- データをアプリにインプットする（アプリ開発）

データとにら
めっこだけで
ニーズは出て
こない

課題に直面している人の真の
ニーズに迫るには

データの裏にある 見えていない
人の行動の原点を探る

その行動の原点を探るには……

行動の原点を探る デザイン 思考

行動の原点を探るには人間
観察が欠かせない

人間観察には課題に直面し
ている人になりきってみる

これがデザイン思考の共感
やさしいようで難しい

相手への
共感で
ニーズと
アイデア
を見つけ
出す

共感して根底の課題を抽出

根底の課題(ネガ)からニーズ
(ポジ)に転換

ニーズを実現するアイデアを考
える

あれこれみんなでアイデアを探
す

アイデア考案から提案へ

あるといいね
使っているね

(デザイン思考)

人間観察と共感

アイデアづくりプロセス

根底の課題抽出

ニーズを見すえて

テスト

(データ分析)

アイデア考案

事実の確認発見

・困ったら戻る

効果確認

提案仕上げプロセス

ストーリーに仕上げる

アイデア・理由・実現プロセス

アイデア
提案

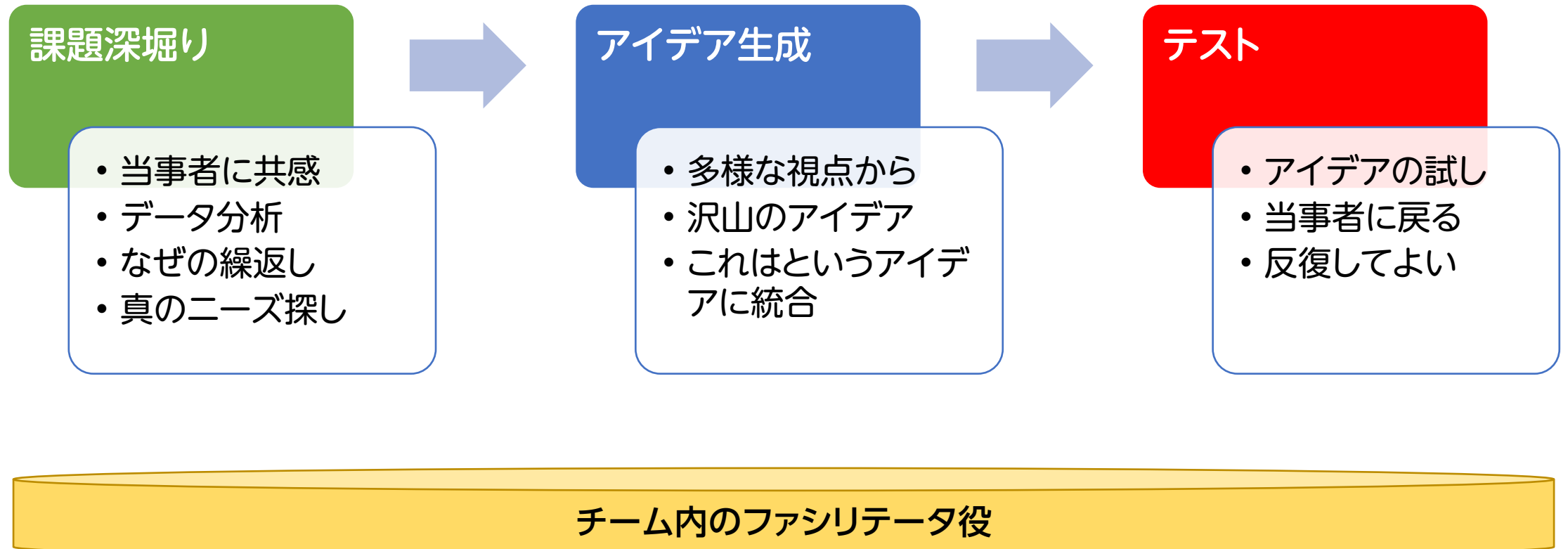
データで理由を語る

実現性チェック
体制・お金・制度

デザイン思考
+ データ分析

論理思考

前半のアイデア考案プロセス





後半のアイデア提案プロセス 説得力が増すトゥールミンモデル



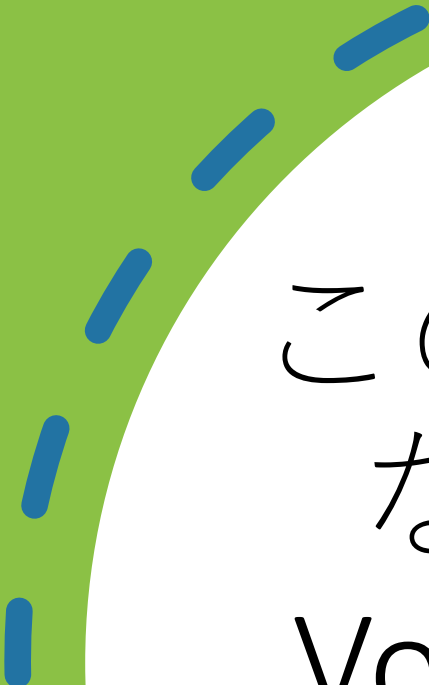
課題

市民・学生側

自治体側

出会いの場

Civic Tech



このまちはみんな
で作る Bon
Voyage au COG!

